

## 令和6年度「#あおばな in 大湊高校」開催概要

県内の高校生の皆さんに、知事との意見交換を通して県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や県政に対する期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり開催しました。

○日時：令和6年5月17日（金）13：40～15：00

○場所：県立大湊高等学校 第1体育館

○参加学生：全校生徒 365名

### <生徒との意見交換>

代表生徒からの意見について知事と対話をしました。

- ①大湊高校とむつ工業高校との統合校のあり方について
- ②下北地域における災害発生時の影響と対策について
- ③下北地域における少子高齢化と人口減少対策について
- ④学費等の助成支援制度の活用促進に係るPR等について
- ⑤県外から戻ってきたいと思える青森県について

上記に係る意見交換の後、約40名の生徒が参加し、野球ボールを使ったゲームを実施して、対話の重要性について考えました。

※知事から生徒へのコメントの一部を紹介します。

- ・皆さんが外の世界を見てみたい、県外で働きたいと思うことは健全なことだと思う。大人の私たちがやるべきことは、無理にこんなことが魅力だと伝えることではないかもしれない。若い皆さんの方がネットを通じて、いろんなことを見ている。いったん外に出ても、また魅力を感じてもらえる青森県、下北にしていかなきゃいけないということなのかもしれない。いろんな環境を整えるためにはお金が必要だったり、制度を変えなきゃいけないと思っているが、それをまさに、今、知事になってチャレンジしているので、皆さんが県外に羽ばたいていった後に、今日の機会を思い出し、皆さんが就職で戻ってみようかなと思えるように、頑張っていきたい。
- ・学校生活や、これから社会に出て、何かにつかつた時、一人では問題解決はできない。そんな時こそ、家族や先生、友達との対話を大事にしてほしい。対話をすることで、必ず答えが見えてくる。そして、答えを共有した時に、ものすごく前に進めると思う。だからこそ、これから対話を積み重ねてほしい。

